

個々の問題の出題の意図及びその正答率

国語 中学校 2年

評価の観点等

- 1 聞く能力
- 2 書く能力
- 3 読む能力
- 4 言語についての知識・理解・技能

領域等	大問	問題番号		出題の意図	評価の観点等				正答率
		小問	通番		1	2	3	4	
話すこと・聞くこと	一	一	1	事実と意見の関係を考えながら話の内容を聞くことができる。	○				93.1
		二	2	論理的な展開や構成を考えながら話の内容を聞くことができる。	○				87.8
		三	3	話し合いが目的に沿って効果的に進むように、話の内容を聞き分けることができる。	○				90.2
書くこと 読むこと	二	一	4	話の展開を考えながら文章を読むことができる。			○		46.5
		二	5	表現の仕方や文章の特徴に注意して読むことができる。			○		66.8
		三	6	自分の伝えたい事柄を明らかにして書くことができる。話の展開を考えながら、登場人物の心情の変化を読むことができる。		○	○		63.7
		四	7	比喩表現に着目しながら、登場人物の心情を読むことができる。			○		79.5
		五	8	登場人物の見方や考え方を考えながら、文章を読むことができる。			○		82.1
言語事項	三	一(1)	9	小学校で学習した漢字と中学校2年生までに学習した漢字を、正しく読むことができる。				○	89.9
		一(2)	10					○	92.3
		一(3)	11					○	45.3
		一(4)	12	小学校で学習した漢字を正しく書くことができる。				○	65.7
		一(5)	13					○	86.8
		二(1)	14	文の意味をとらえて語句を正しく使うことができる。				○	45.6
		二(2)	15	慣用的な表現を正しく使うことができる。				○	92.9
		二(3)	16	ことわざを正しく使うことができる。				○	92.9
		三(1)	17	文の成分を理解することができる。				○	80.1
		三(2)	18	基本的な故事成語を理解することができる。				○	89.6
三(3)	19	敬語を正しく使うことができる。				○	96.2		
書くこと	四	一	20	資料から分かることを、主述が整った文で書くことができる。		○			57.1
		二	21	自分のものの見方や考え方を深めながら書くことができる。		○			60.9